

# 御嶽山の噴火状況等について

平成 26 年 9 月 28 日 8 時  
気 象 庁

## 1. 火山活動の状況(9月28日8時現在)

- ・御嶽山では、本年9月10日から11日にかけて火山性地震が一時的に増加したものの、その後火山性地震は減少していた。
- ・9月27日11時41分頃から火山性微動が発生し始め、同11時52分頃に噴火が発生した。中部地方整備局が設置している滝越カメラによれば南側斜面を噴煙が流れ下り、3キロメートルを超えるのを観測したため、噴火警戒レベル3(入山規制)を発表し、火口から4キロメートル以内に立ち入らないように呼びかけている。噴火は現在も継続している。
- ・御嶽山で噴火が発生したのは平成19年(2007年)3月下旬のごく小規模な噴火以来のこと。
- ・9月27日に気象庁が降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が観測されている。

## 2. 気象の見通し(9月28日5時現在)

- ・御嶽山の山頂付近では、5メートル程度の北よりの風が吹いていると見られる。今日28日は、夜まで、2～3メートル程度の北よりの風が続く見込み。
- ・長野県南部、岐阜県飛騨地方の天気は、今日28日、明日29日共に、高気圧に緩やかに覆われて概ね晴れるが、朝晩は湿った空気の影響で雲が多い見込み。

## 3. 気象庁がこれまでに取った措置(9月28日8時現在)

- ・御嶽山の火山活動状況について、御嶽山周辺の地震計、空振計、傾斜計、遠望カメラ等の観測ネットワークにより、24時間体制で監視中。
- ・噴火警報等を発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を各地方気象台より適宜実施。
- ・気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣して、噴火の状況や降灰の状況等の調査を実施(長野地方気象台:9月27日13時55分～23時頃、気象庁:9月27日15時40分～)
- ・降灰の拡がりについて気象台から自治体等への聞き取り調査を実施(9月27日～)
- ・火山活動状況に関して記者会見(9月27日14時30分)
- ・御嶽山山頂部における救助活動の実施にあたっての留意事項について長野・岐阜両県等関係機関に周知(9月27日)。

- ・長野県の災害対策本部会議に出席(9月27日～)
- ・長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象支援資料を提供  
(9月28日5時～ 1日2回の提供)

#### 【噴火警報等の発表状況】

○9月11日～16日 火山の状況に関する解説情報を3回発表し、火山性地震が増加していること、今後の火山活動の推移に注意することを呼びかけた。

○9月27日12時00分～ 噴火に関する観測報を随時発表し噴火が発生していることを知らせる

○9月27日12時02分～ 航空路火山灰情報を発表し、航空機に対する情報を提供

○9月27日12時36分 噴火警報(火口周辺警報)を発表し、周辺の市町村・住民に警戒を呼びかける

#### ・噴火警戒レベル

レベル1(平常) → レベル3(入山規制)

※御嶽山の噴火警戒レベル3は、平成20年3月31日の噴火警戒レベルの運用開始以来初めて。

#### ・警戒対象市町村

長野県：王滝村、木曾町

岐阜県：高山市、下呂市

#### ・防災上の警戒事項

①火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散等に警戒が必要

②風下側では4キロメートル以遠も含めて降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要

③爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要

○9月27日13時35分～ 降灰予報を約6時間毎に発表し、降灰の予想される地域を図示

○9月27日16時～ 火山の状況に関する解説情報を概ね3時間毎に発表

## 4. 気象庁の今後の対応(9月28日8時現在)

- ・国土交通省中部地方整備局のヘリに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午前)
- ・陸上自衛隊のヘリに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午後)
- ・気象庁機動調査班により火山ガス観測等を実施(9月28日)
- ・御嶽山の火山活動等について検討を行うため、火山噴火予知連絡会拡大幹事会を開催(9月28日16時)、見解を発表(同日19時頃)

## 御嶽山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

御嶽山では、昨日（27日）11時52分頃、噴火が発生しました。山頂付近の噴火時の状況は視界不良のため不明でしたが、中部地方整備局が設置している滝越カメラにより南側斜面を噴煙が流れ下り、3 km を超えたことを観測しました。

昨日（27日）12時36分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から3（入山規制）に引き上げました。

御嶽山では、火口から4 km 程度の範囲では大きな噴石の飛散等に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

### 活動状況

#### ・27日の噴火（図2～6、表1）

昨日（27日）11時52分頃、噴火が発生しました。山頂付近の噴火時の状況は視界不良のため不明でしたが、中部地方整備局が設置している滝越カメラにより南側斜面を噴煙が流れ下り、3 km を超えたことを観測しました。この噴火の直前の11時41分頃から連続した火山性微動が発生しています。田の原観測点（山頂の南東約3 km）の傾斜計<sup>1)</sup>で、微動の発生直後の11時45分頃から山上がりの変化を、その約7分後に山下がりの変化を観測しました。山上がりから山下がりの変化に変わった頃に噴火が始まったものとみられます。

本日（28日）6時現在も噴火及びそれに伴う微動が継続しており、噴煙の高さは火口縁上約800 m で東に流れています。

火山性地震は、噴火後多い状態となっています。

気象庁で降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が確認されました。

GNSS<sup>2)</sup>連続観測では特段の変化はみられていません。

#### ・噴火に至るまでの活動の経過（図6～9、表1）

御嶽山では、2007年3月後半にごく小規模な噴火が発生しましたが、その後静穏な状態が継続していました。9月10日から11日にかけて、剣ヶ峰山頂付近の火山性地震が増加しましたが、その後次第に減少していました。

### 精査の結果、噴火の発生時刻を11時53分から11時52分に修正しました。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。1マイクロラジアンは1 km 先が1 mm 変化する量です。

2) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、中部地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、名古屋大学、独立行政法人防災科学技術研究所、長野県及び岐阜県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』『数値地図25000（行政区・海岸線）』『数値地図25000（地図画像）』を使用しています（承認番号：平23情使、第467号）。



図1 御嶽山 規制範囲図  
 ・赤点線が山頂火山口から4kmの範囲



図 2 御嶽山 噴煙の状況（中部地方整備局のカメラによる。2014 年 9 月 27 日 11 時 56 分）  
・山の南側斜面を噴煙が 3 km を超えて流下しました。



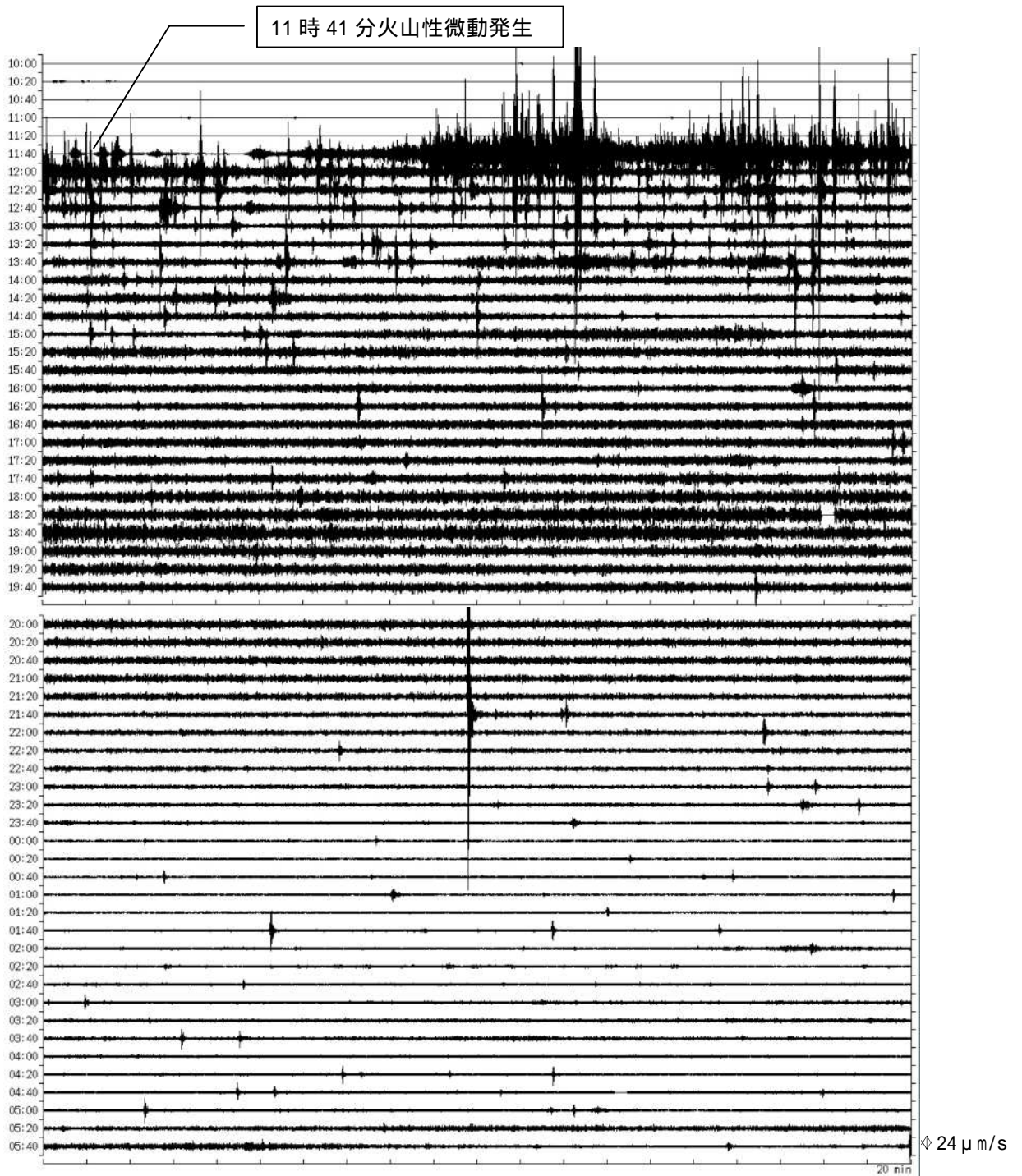


図 3 御嶽山 地震及び微動の発生状況

(2014 年 9 月 27 日 10 時 00 分 ~ 9 月 28 日 06 時 00 分)

- ・火山性微動が 11 時 41 分に発生し、振幅が徐々に小さくなりながら継続しています。

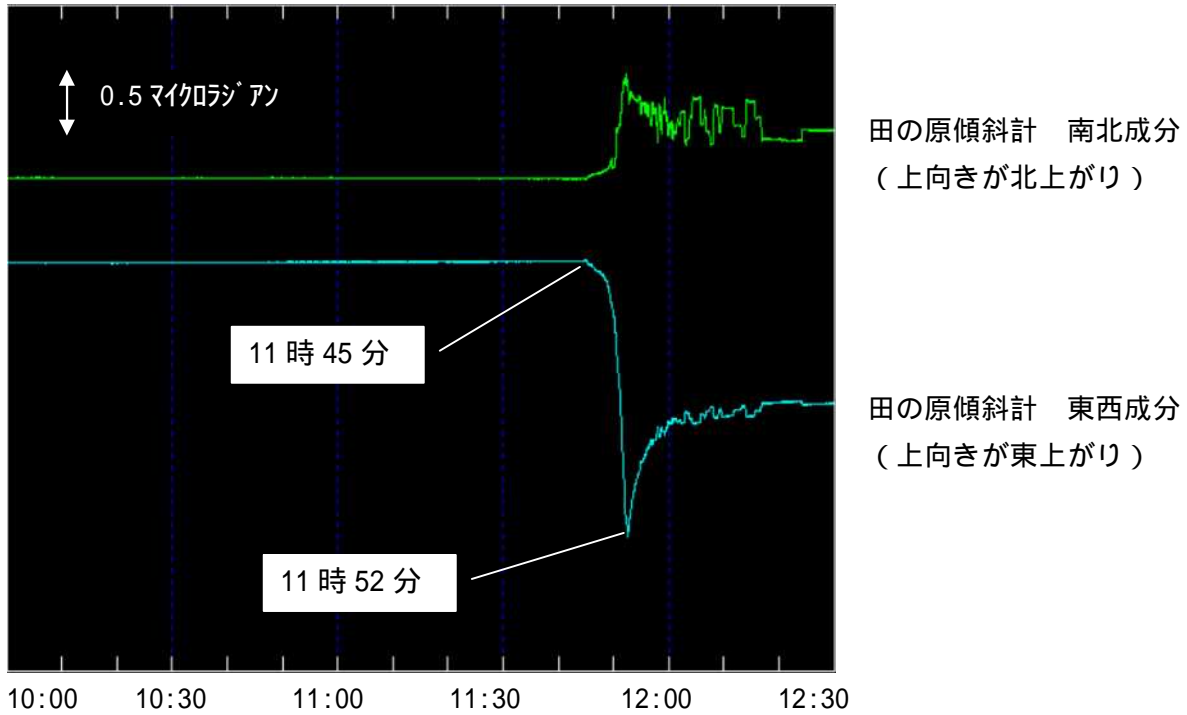


図 4 御嶽山 噴火発生時の田の原観測点（南東約 3 km）の傾斜変化の状況  
・火山性微動の発生に伴い北西上がり（山上がり）の変化を、その約 7 分後に南東上がり（山下がり）の変化を観測しました。南東上がりの変化には火山性微動等による変動も含まれています。

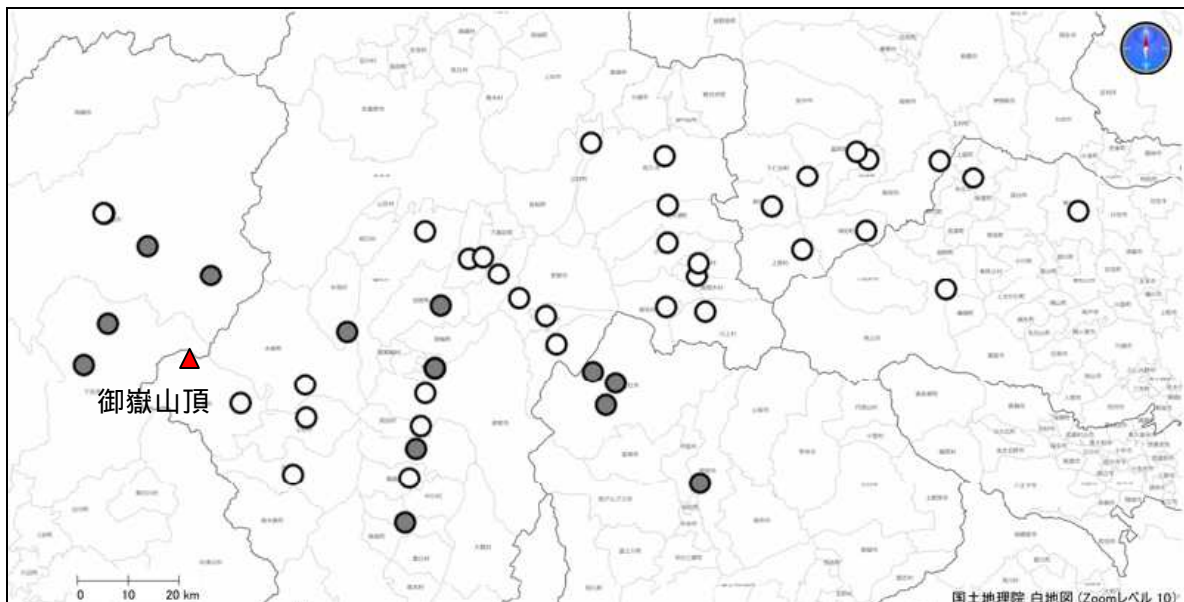


図 5 気象庁の聞き取り調査による降灰の状況（9 月 27 日 21 時現在）  
降灰あり、 降灰なし

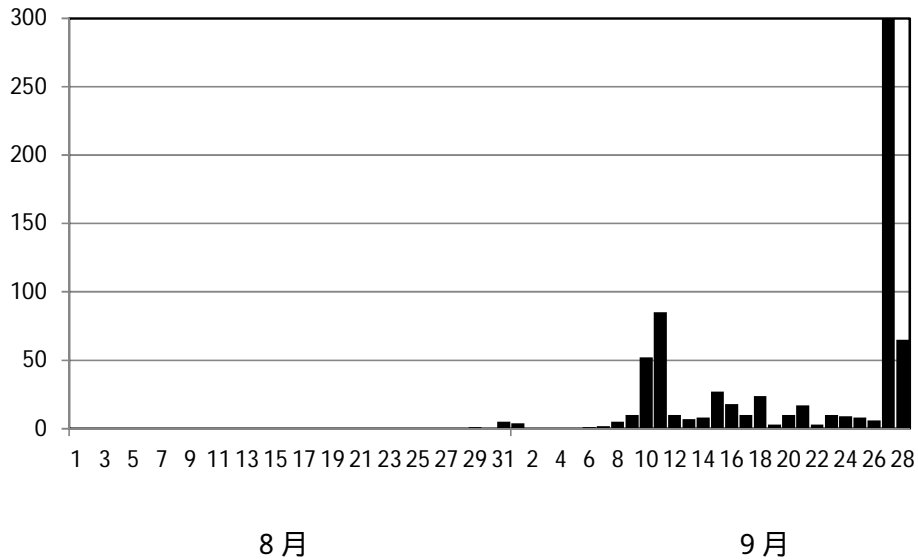


図6 御嶽山 日別地震回数(2014年8月1日~9月28日06時(速報値含む))

表1 御嶽山 地震回数表(速報値含む)

左 日別回数(2014年8月1日~9月28日06時)

右 時間別回数(2014年9月27日~9月28日06時)

8月		9月		9月27日		9月28日	
日	回数	日	回数	時	回数	時	回数
1	0	1	4	0	0	0	20
2	0	2	0	1	1	1	10
3	0	3	0	2	2	2	7
4	0	4	0	3	0	3	10
5	0	5	0	4	0	4	10
6	0	6	1	5	0	5	8
7	0	7	2	6	0		
8	0	8	5	7	0		
9	0	9	10	8	3		
10	0	10	52	9	0		
11	0	11	85	10	0		
12	0	12	10	11	82		
13	0	13	7	12	159		
14	0	14	8	13	31		
15	0	15	27	14	23		
16	0	16	18	15	11		
17	0	17	10	16	7		
18	0	18	24	17	16		
19	0	19	3	18	2		
20	0	20	10	19	1		
21	0	21	17	20	1		
22	0	22	3	21	7		
23	0	23	10	22	4		
24	0	24	9	23	10		
25	0	25	8				
26	0	26	6				
27	0	27	360				
28	0	28	65				
29	1	29					
30	0	30					
31	5						

06時まで



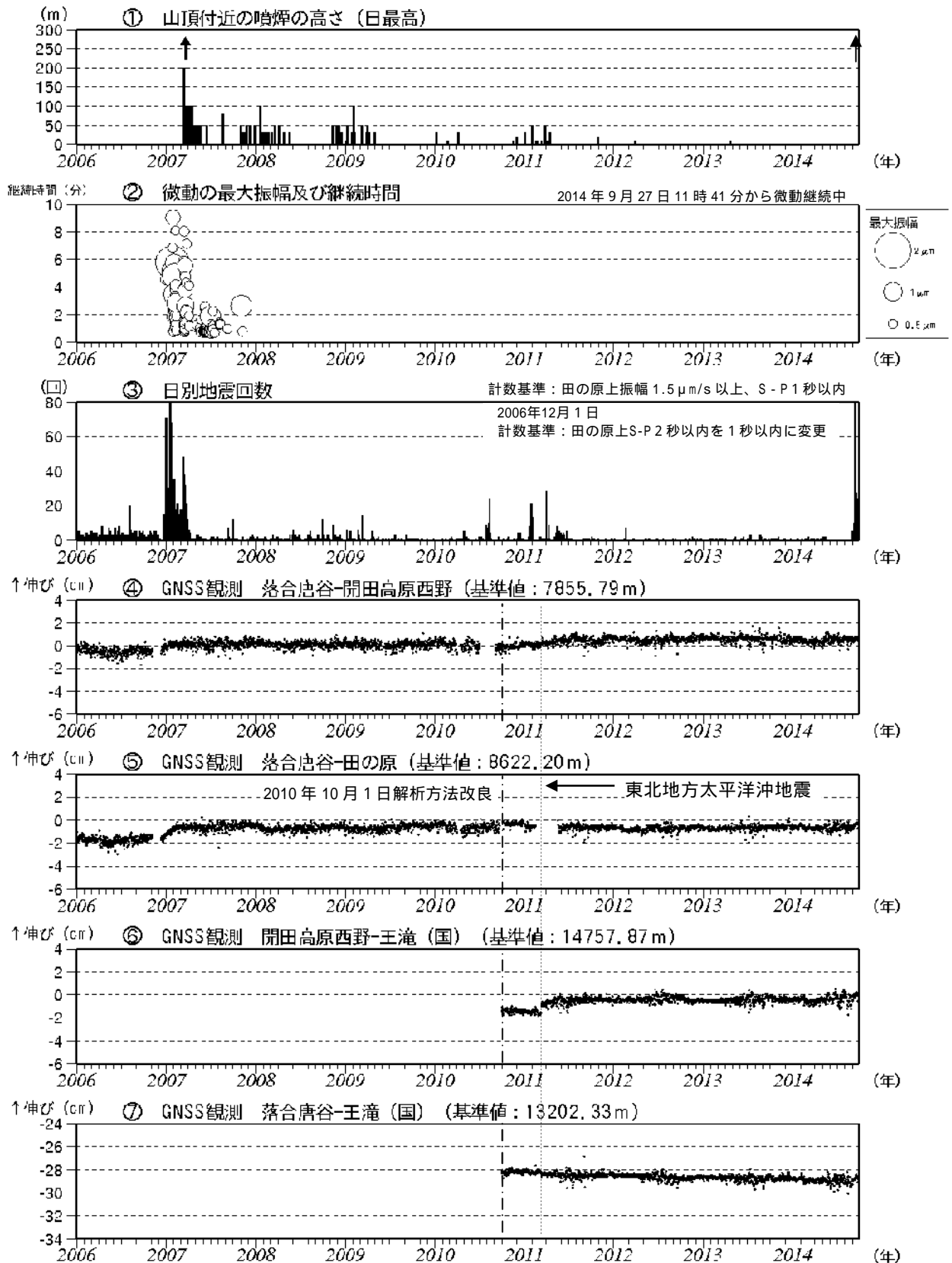


図7 御嶽山 火山活動経過図（2006年1月1日～2014年9月27日）

定時観測（09時・15時）による噴煙の高さ（日最高）

矢印は噴火を示します。

～ GNSS連続観測による基線長変化（国）：国土地理院

には東北地方太平洋沖地震（2011年3月11日）に伴うステップ状の変化がみられます。

2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。

図中 ～ は図9のGNSS基線 ～ に対応します。グラフの空白部分は欠測を示します。

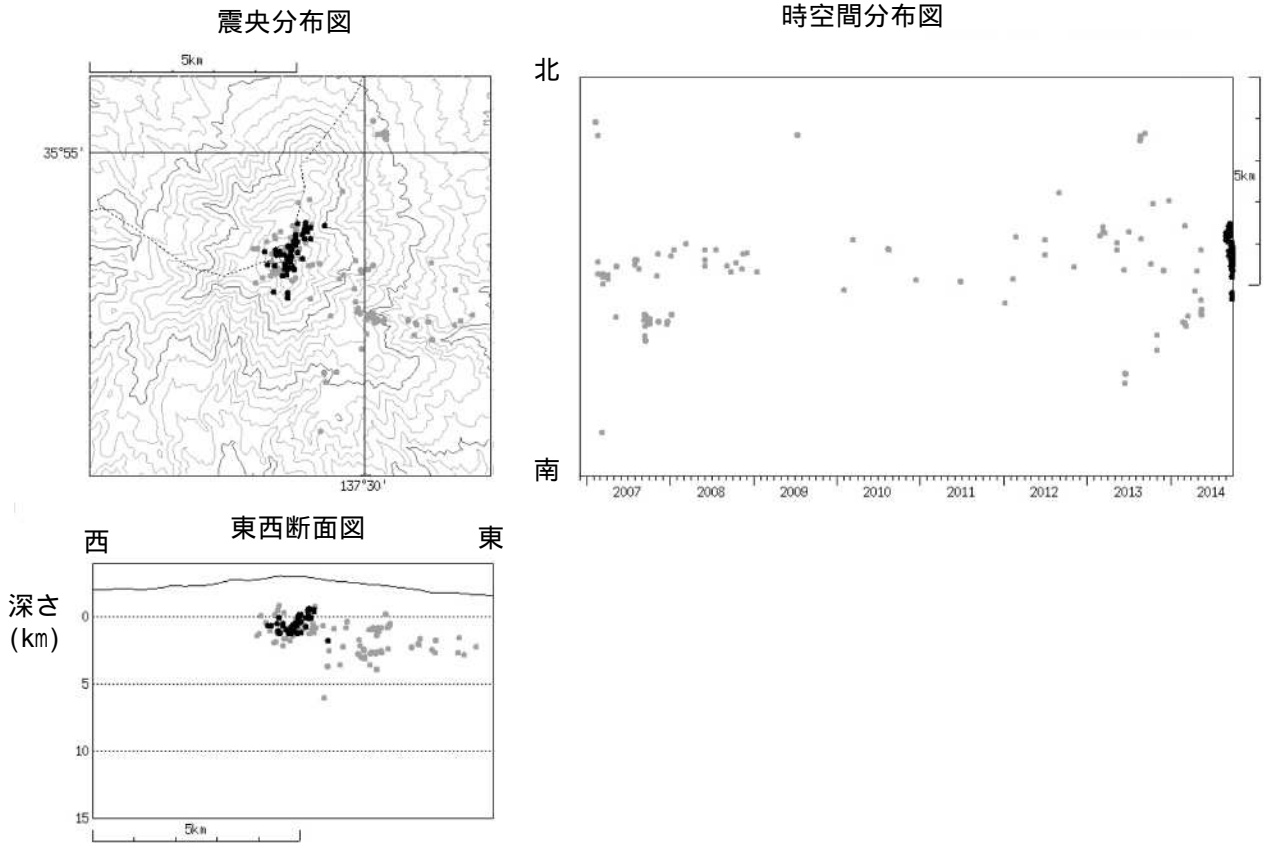
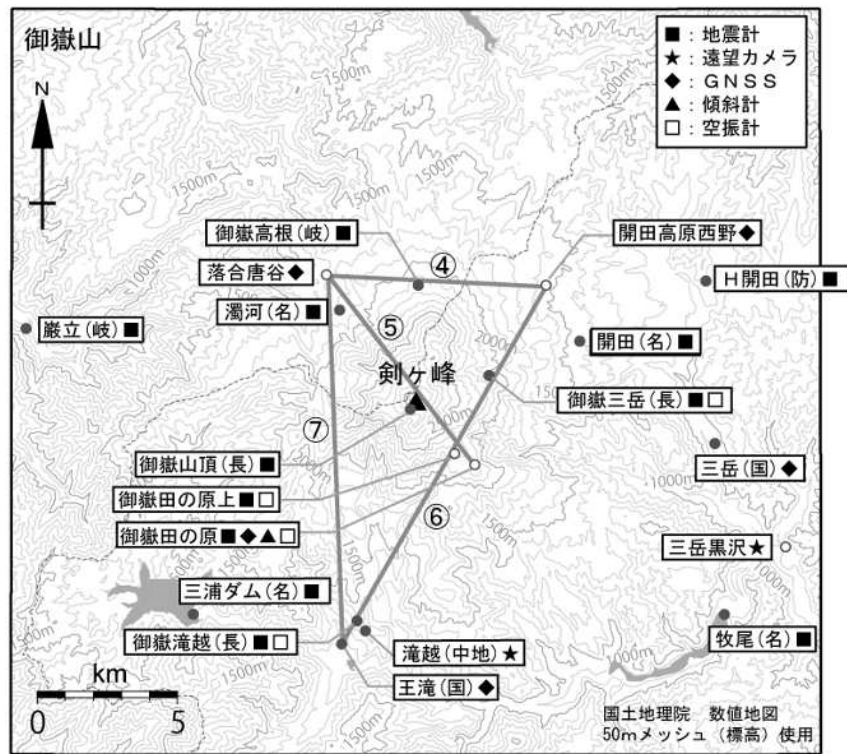


図 8 御嶽山 震源分布図（2006 年 12 月 1 日～2014 年 9 月 27 日）  
 : 2006 年 12 月 1 日～2014 年 7 月 31 日      : 2014 年 8 月 1 日～9 月 27 日



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国) : 国土地理院、(中地) : 中部地方整備局、(防) : 防災科学技術研究所、(名) : 名古屋大学、  
 (長) : 長野県、(岐) : 岐阜県

図 9 御嶽山 観測点配置図

図中の GNSS 基線 ~ は図 7 の ~ に対応しています。

## 御嶽山上空の風と周辺の天気予想

平成26年9月28日 7時  
長野地方气象台  
岐阜地方气象台

### ● 風の予想(御嶽山の上空、高度約3000m)

	9月28日						9月29日							
	09時	12時	15時	18時	21時	24時	03時	06時	09時	12時	15時	18時	21時	24時
風 向	北北西	北	北北東	北北東	北東	西南西	西	西	西	西	西北西	西北西	西北西	西北西
風 速	2 m/s	3 m/s	3 m/s	2 m/s	1 m/s	1 m/s	3 m/s	3 m/s	3 m/s	4 m/s	5 m/s	6 m/s	8 m/s	10 m/s
風	○	↓	↙	○	○	○	→	→	→	→	↘	↘	↘	↘

※風凡例 0~2m/s: ○    3~5m/s: ↙    6~9m/s: ↘    10~19m/s: →    20~29m/s: ↘    30m/s以上: ↘

### ● 御嶽山周辺の風及び天気(長野県側)

	9月28日						9月29日							
	09時	12時	15時	18時	21時	24時	03時	06時	09時	12時	15時	18時	21時	24時
風 向	北	北北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	西南西	西	北北西	北東	北東
風 速	2 m/s	3 m/s	3 m/s	2 m/s	2 m/s	2 m/s	2 m/s	2 m/s	1 m/s	1 m/s	1 m/s	2 m/s	2 m/s	1 m/s
風	○	↙	↙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
天 気	9月28日 高気圧に覆われ晴れますが、夜は雲が広がりやすいでしょう。													
	9月29日 引き続き、高気圧に覆われ晴れますが、朝晩を中心に雲が広がりやすいでしょう。													
降水量予想	雨 量: 28日06時から29日06時までの予想降水量:0ミリ													
	ピーク: 28日から29日の1時間最大降水量:0ミリ													

### ● 御嶽山周辺の風及び天気(岐阜県側)

	9月28日						9月29日							
	09時	12時	15時	18時	21時	24時	03時	06時	09時	12時	15時	18時	21時	24時
風 向	北北東	北	北北東	北北東	北北東	南東	南東	北東	北北東	北北東	北北東	北北東	北北東	北北東
風 速	4 m/s	3 m/s	3 m/s	3 m/s	1 m/s	1 m/s	1 m/s	3 m/s	5 m/s	4 m/s	3 m/s	2 m/s	2 m/s	1 m/s
風	↙	↓	↙	↙	○	○	○	↙	↙	↙	↙	○	○	
天 気	9月28日 高気圧に覆われ晴れますが、夜は雲が広がりやすいでしょう。													
	9月29日 引き続き、高気圧に覆われ晴れますが、朝晩を中心に雲が広がりやすいでしょう。													
降水量予想	雨 量: 28日06時から29日06時までの予想降水量:0ミリ													
	ピーク: 28日から29日の1時間最大降水量:0ミリ													

### ● 御嶽山周辺に関わる警報・注意報の状況または発表の見通し

- ・ 長野県の木曾地域: なし
- ・ 岐阜県の飛騨南部: なし
- 飛騨北部: なし

平成 26 年 9 月 28 日  
8:00 現在

## 御嶽山の火山活動に関する国土交通省の対応状況

### 1. 噴火の概要（気象庁）

- 27 日 11:52 頃 噴火 平成 19 年の 3 月下旬以来。
- 27 日 12:36 火口周辺警報、レベル 1→3（入山規制）に引き上げ。平成 20 年（レベル導入）以来。
- 火口から周辺 4km 付近内では噴石に注意。
- 27 日 14:30 気象庁記者発表。
- 27 日 気象庁の聞き取り調査によると、御嶽山の西側の岐阜県下呂市はぎわらちょう萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰。
- 28 日 7:00 現在、上空 3000m では北の風 5m/s 程度、夜まで北の風 1~3m/s 程度が続く見込み。
- 今後の天気は、28 日、29 日共に概ね晴れるが、朝晩は雲が多い。

### 2. 国交省の対応－被災者（入山者）の救助に総力

#### ① 救助、下山支援

【9/27(土)】

○15:15 官邸リエゾンを派遣。

○19:10 より濁河温泉（下呂市側）の下山道にて国交省の照明車両による徒歩下山者支援を実施。

【9/28(日)】

○災害対策用機械 13 台が稼働中。

・3:00 時点で照明車両 5 台が徒歩下山者および自衛隊等入山の支援のため稼働中。

・木曽町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車 3 台、散水車 2 台で実施中。

・衛星通信車 2 台、Ku-SAT1 台によりヘリ画像等を通信中。

○リエゾン 12 名派遣中（王滝村 2 名、木曽町 1 名、長野県庁 2 名、長野県木曽地方事務所 1 名、高山市 2 名、下呂市 2 名、岐阜県庁 2 名）。

## ②二次災害防止対策

【9/27(土)】

- 16:05 防災ヘリによる上空調査により、山頂南西側大きく開いた3カ所の噴火口、山頂付近に厚さ50cmの降灰を確認。(ヘリからの目視確認)
- 国総研・土研より砂防専門家3名を派遣し、土砂災害防止法に基づく、緊急調査を準備。

【9/28(日)】

- 5:45 から防災ヘリによる緊急調査等を実施(砂防専門家3名、気象庁1名等)。
- 長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象支援資料を提供(5:00から1日2回の提供)。

## ③その他

- 長野県道1路線、木曾町道4路線、王滝村道1路線で入山規制に伴う事前通行規制を実施中。
- 27日13:35以降、気象庁から降灰予報を約6時間毎に発表している。
- 御嶽ロープウェイ運休中。
- おんたけ交通 バス2路線運休中。
- 気象庁発表の火山灰情報に基づき、火山灰の影響する高度、移動方向等に関する航空情報(ノータム)を発行(27日12:21)。
- 28日 欠航便情報2便(ジェットスター)。

## 3. 体制等について

本省：非常体制、国土地理院：非常体制、気象庁：非常体制  
中部地整：非常体制、中部運輸局：注意体制  
関東地整：注意体制、北陸信越運輸局：注意体制

## <会議等>

【9/27(土)】

- 14:25 太田大臣防災センター登庁(対策を指示)
- 14:40 第1回太田大臣、中部地整局長テレビ会議
- 15:43 第2回太田大臣、中部地整局長テレビ会議
- 16:40 関係省庁災害対策会議(第1回)
- 17:10 関係閣僚会議(太田大臣出席)

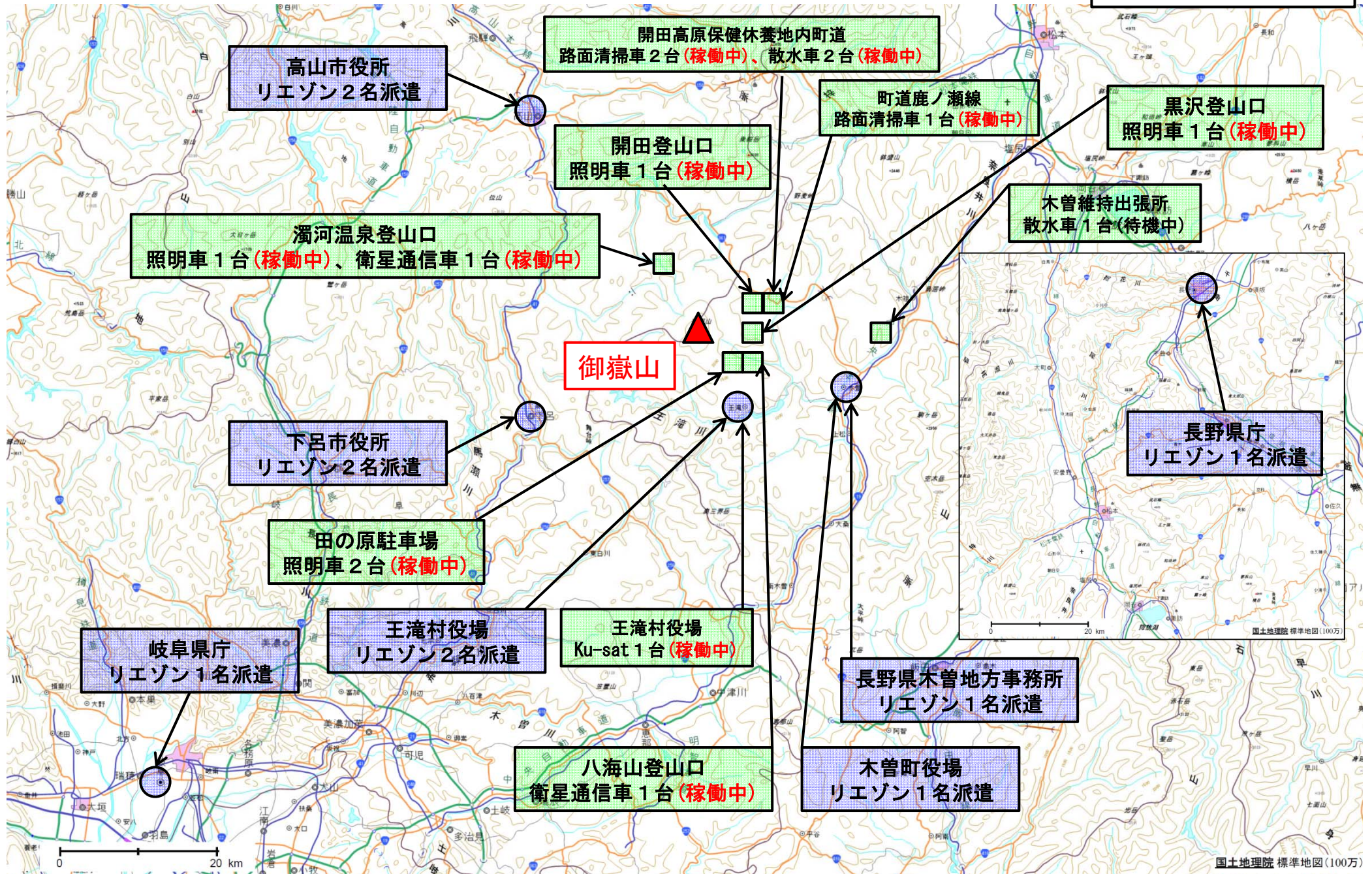
【9/28(日)】

- 10:30 御嶽山の火山活動に関する国土交通省関係局長等会議
- 13:00 関係省庁災害対策会議(第2回)



# ■御嶽山の噴火に伴うリエゾンおよび災害対策車両の派遣状況

国土交通省 防災センター  
平成26年9月28日 7:30時点





平成26年9月28日  
国土交通省砂防部

## 救助活動等における土砂災害への警戒について

- 火山灰等が堆積した流域では、通常より少ない降雨で土石流が発生する可能性があります。
- このため、救助活動等に際しては、降雨に十分留意し、降雨時に溪流を横断したり、溪流沿いの登山道を使う場合は、土石流に十分留意すること。その際、水の濁りや水量が急激に変化する等、土石流の兆候があった場合には、溪流と直角方向にできるだけ高い位置に速やかに避難すること。
- 活動地点において降雨がなくても、流域の上流部で降雨がある場合が考えられるため、適宜、携帯端末等により気象庁のナウキャストなどリアルタイムの雨量情報を確認すること。
- 今後、土砂災害防止法に基づく緊急調査により発表される情報についても注意して下さい。